蓬田村

地域に広がる「たすけあい」の心が村の暮らしを変える

社会福祉法人 蓬田村社会福祉協議会／田中 利明さん

村内の交通弱者を対象に、ボランティア運転手が村内全域、近隣市町村の病院や商業施設などへの送迎を行う「たすけあい交通」を実施。また、高齢者による援農ボランティアも実施し、地域住民の生きがいづくりと交流の場となっている。

気に掛ける気持ちを育み、
人とつながり助け合える地域に！

不十分な交通機関を地域の力でカバーする！「たすけあい交通」

2019年から蓬田村社会福祉協議会の職員として働く田中さんは、生活支援コーディネーターとしても活動しています。「住民の暮らしが見え、困りごとも見えてくるなかで、困りごとを気にしている人たちまで見えてくるんです」。2020年8月に始めた「たすけあい交通」は、まさに住民の困りごとから生まれたサービスです。

「蓬田村は村で運営しているコミュニティバスと鉄道があるのみで、タクシー会社はなく、交通機関が十分ではありません。村には診療所がひとつしかないですし、最寄りのスーパーマーケットも村外です。高齢化が進み交通弱者が増加している現状や住民へのアンケートから、交通の面での不安を抱える住民が多くいることが分かり、それらの不安を解消するべく始めたのが「蓬田村たすけあい交通」です」。協議体を編成して村内の交通について協議を重ね、新たなサービスが始まりました。

無理なく楽しく、誰もが参加できるボランティア活動を展開

「たすけあい交通」は、平日月～金曜日に運行地区にある病院やスーパーマーケット、日常で必要な用事のための送迎サービスです。利用者には会員登録をしてもらい、利用したい日の3日前までに協議会に電話予約をすれば、当日ドライバーが指定の時間に迎えに来ます。蓬田村内はもちろん、外ヶ浜町蟹田地区、青森市までエリアごとに利用料金を定めていて、相乗り乗車することも可能です。ドライバーは現在13名が登録しています。「車は協議会で所有している自動車3台を利用し、毎日2～3台は稼動している状況です。ドライバーに無理が掛からないように距離と頻度を調整してスケジュールを管理しています。利用料金の8割をドライバーに支払い、2割をガソリン代などの活動維持費に充てています」。

2020年冬からは除雪ボランティアも開始し、高齢者や障害者の住宅の除雪に対応しています。ボランティアの方が所有する除雪機を軽トラに載せて現場へ向かうことも。役場や民生委員などが窓口となっていて、2021～2022年シーズンでは、33件の出動がありました。

また、介護予防のサロンと障害者教室に参加する方に呼びかけ、農繁期の6～10月にかけて、援農ボランティアとして農家が収穫したトマトのパック詰め作業を行っています。援農ボランティアはポイントカードを導入していて、1時間の活動ごとに1ポイントが獲得でき、ポイントを貯めると生活用品と交換できる仕組みです。ほかにも、たまねぎの生産作業や協議会で実施している野菜の宅配便の袋詰め作業の援農ボランティアもあります。

自宅前まで送迎なので冬も安心。

どんな場所でも、人が集まればサロンになる

「たすけあい交通は村の高齢者にはかなり浸透したと思う」と田中さん。コロナウイルスのワクチン接種の際にも、多くの方に活用していただいたそうです。「『たすけあい』という名前がつくものが広まったことで助け合う気持ちが住民に生まれ、たとえば隣の家の人が雪かきをしてくれるようになってびっくりしている、という話を聞きました。

相乗りする車の中では住民のおしゃべりが絶えない。

ミニトマトのパック詰めは、直接お客様の目に触れる大切な仕事。

個人の農業スキルに合わせてボランティアの内容を変更。

身体に障がいのある方が援農ボランティアすることも。

助ける側も助けられる側も、最初は壁があるんです。その壁が少しずつ低くなってきたのかなと思います」。

相席での送迎も、トマトのパック詰め作業も、人が集う場。その場その場がサロンになり、家族以外の人と交流することで生きがいや楽しみにつながっています。援農ボランティアは口コミで広がり、現在のメンバー11名に加えて2022年の6月から新たに活動したい方の申し込みもあるそうです。ボランティア活動を楽しみに待っている住民が多くいます。

気に掛ける気持ち→人とのつながり→助け合いへ。行動に移すことで地域は変わる

それまで「あの人どうしてるかな」と気に掛けるだけだったのが、ボランティア活動を通じて人とつながり、行動として助け合えるようになった蓬田村。今後は、活動者の負担を考慮し、継続可能な体制でボランティア活動ができる仕組みづくりの構築をめざします。

「住民や地域団体をなるべく巻き込んでいきたい。地域に困っている人が居ることを知ってもらった上で、自分たちで動ける地域になってほしい。一人ひとりがそう考えて行動することで、この地域をみんなで作っていきたいですね」。

袋詰めした野菜は地域へお届け。

収穫した玉ねぎの選別作業。

団体データ

社会福祉法人 蓬田村社会福祉協議会

- 設立　1982年12月
- メンバー　3名
- 拠点　蓬田村
- 活動エリア　蓬田村、青森市、外ヶ浜町蟹田地区
- 住所　〒030-1202 蓬田村大字瀬辺地字山田35-84
- TEL　0174-27-2828
- HP　http://www.yomogitashakyo.jp/

HP

連携先機関

- 蓬田村役場
- 蓬田村地域包括支援センター
- 蓬田たまねぎ生産組合

団体のあゆみ

- 2020 8月　ボランティアセンター設置
- 　　たすけあい交通 運用開始
- 　　6～10月　援農ボランティア テスト実働
- 　　12月　除雪ボランティア 運用開始
- 2021 6～10月　援農ボランティア 実働

ここがPOINT!

気にかける気持ちに働きかける声掛け

「たすけあい交通」でボランティアドライバーを広報で募集した当初は、ドライバーが一人も集まらなかったそう。定年退職した地元住民にピンポイントで声を掛けて回ったところ「実は気になっていた。それくらいなら手伝える」とドライバーを徐々に増やすことができました。気にかける気持ちに働きかけたことで、行動に結びつけられたのでした。